

平成27年3月2日

大使館からのお知らせ（南ア電力事情をめぐる注意喚起）

在南アフリカ共和国日本国大使館

南アにおきましては、Eskomによる計画停電(Load Shedding)が実施されておりますが、南アの電力事情は短期的には解決されない問題と認識する必要があります。一部にBlackout（国全体の電力供給が一斉に出来なくなってしまう状態）を懸念する報道も散見されますが、過度にパニックにならず冷静に対応することが大切です。

つきましては、当面、計画停電が継続することを前提に念には念を入れて以下の準備を進めておかれるようお願いいたします。

1 情報収集

Eskomはもとより、ヨハネスブルグ市、ツワネ市等では計画停電に関する情報を公開していますので、所属先及び自宅所在地での計画停電予定をこまめに確認しておくことが大切です。

エスコム計画停電ページ：

<http://loadshedding.eskom.co.za/LoadShedding/ScheduleInterpretation>

2 安全対策

（１）当地は職場、自宅にも警報装置が設置されているのが一般的ですが、停電により警報装置が作動しない場合、例えば次のような警備体制を予め検討しておく必要があります。

ア 窓枠及び玄関扉・勝手口扉・主寝室出入口扉へのバーグラーパー設置

イ ADT等機械警備に頼らない警備体制の整備（例：警備員の（増員）雇用）

（２）また、当地では調理を電気で行うのが一般的ですが、停電時には自宅での調理が出来ないため外食を考えがちです。他方、警報装置が作動しない中で自宅を不在にすることは住居侵入被害の危険性が高まっていることでもあります。加えて、（外食等の目的を含め）特に停電が夜間に発生した場合に外出しても街灯が点灯していないことが予想されますが、暗い夜道での運転自体は安全面でも問題がありますので、自宅に待機していた方が安全であると考えられます。

（３）さらに、特にダウンタウンやタウンシップなどでは商店の略奪などが発生する虞も十分にありますので、そうした場所には不用意に近づかないことも安全を確保する上では大切です。

3 備蓄

停電が長期にわたりますと物流が滞ることも想定されますので、水（ミネラル・ウォーター）、非常用食料、（電気での調理が出来なくなることを想定し）ガスコンロ、燃料（ガスコンロ用詰め替えガス、車両用ガソリン／ディーゼル）、ろうそく、ソーラータイプの電灯、（ＡＴＭが引き出せず、カード自体が使用できなくなることを念頭に）現金等を確保しておくことが大切です。

4 通信手段

（１）停電が長引きますと普段使用している携帯電話の充電すら困難になりますので、電池を用いた補助的充電器等を確保しておく一方、こうした場合に備えた組織内・家庭内での連絡体制をどのように確保するかにつき予め検討しておく必要があります。

（２）大使館は電話回線が不通になった場合、以下の周波数でＦＭ放送による情報提供を行うことを想定していますが、受信するためにはラジオが必要となります。近くテスト放送を実施いたしますので、受信状況確認にご協力をお願いいたします。なお、実施日時は改めてお知らせいたします。

プレトリア市内在住者向け周波数：８９．５ＭＨＺ

ヨハネスブルグ品在住者向け周波数：８７．６ＭＨＺ

（了）